

本人支援（5領域）

◇健康・生活

毎日の健康管理に留意しながら、利用者様の小さなサインや心身の異変に気づけるよう、観察（声かけ・見守り）を行います。

通所時および降所時の身辺自立に向けた取り組みとして（靴や衣類の着脱および着替え、荷物の整理、提出物、手洗い、消毒など）実施し、習慣化出来るように支援してまいります。

1日の流れや、活動についての説明などは視覚的アプローチ（写真や絵カード、時間カードなど）を用いるなど、利用者様に分かりやすい方法でお伝えしていき、利用者様が不安なく過ごすことが出来るよう支援してまいります。またご家庭での生活の中での様子や課題を利用者様本人から、また日々の連絡帳や電話やメールなどのツールも用いて、ご家族様からお聞きしていきながら個別支援してまいります。

◇運動・感覚

集団活動および個別活動において、室内運動や室内サーキット、和太鼓やダンスなど身体全体を使う活動などを提供し身体機能の維持・向上を図ってまいります。

集団活動や製作活動においては、視覚や聴覚、指先の巧緻性などの感覚を活用し取り組んでいただけるよう年間を通して季節ごとの行事や活動、体験（ラジオ体操や夏のプール活動、農作業体験や花や野菜など植物の栽培、外出活動における買い物体験や外食体験、社会資源を活用した見学や体験など）を提供していきながら支援してまいります。また日常生活における基本となる姿勢の保持や、運動機能の観察を行っていきながら、必要に応じて個別支援してまいります。

◇認知・行動

利用者様一人ひとりの発達段階や特性などを踏まえ活動や遊びを通じて、色や数字、物品などの視覚認知など様々な概念獲得に向け、活動や課題の提供を行っていきながら認知、解釈しやすいように環境を設定し整えていきながらストレスなく過ごすことが出来るよう支援してまいります。

◇言語・コミュニケーション

利用者様一人一人の障がいの種別や程度、また興味関心に応じて言葉によるコミュニケーションだけでなく絵カードやジェスチャー等を用いて相手の気持ちを理解し、自分の気持ちを伝えられる事ができる環境作りを行ってまいります。

利用者様の特性に応じた課題を設定し、読み書き能力の向上を図ります。

言葉によるコミュニケーションの難しい利用者間におきましても、絵カードやサインなどを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援してまいります。

集団活動を通して、他者とのやり取りの場を提供し、職員が間に入り援助、支援します。

◇人間関係・社会性

社会資源の活用（外出の機会など）の経験を積むことが出来るように支援していく中で、集団活動を通して社会生活に必要な基本的なルールやマナーなど、他者との適正な距離感というものを理解認識していただけるよう、適宜声掛けを行い時には職員が介入していきながら他者との良好な関係形成をしていけるよう支援してまいります。